

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校 種	教 科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総 ページ数
中学校	特別の教科 道徳	8	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発 行 者	2・東書	11・学図	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・廣あかつき	233・日科
観 点	視点①「道徳科の学び方等の示し方」 視点②「主題名等の示し方」 視点③「発問の工夫」							
(ア) 基礎・基本の定着	<p>①オリエンテーションのタイトルは「道徳の授業はこんな時間に」とし、巻頭折り込み3ページを使い、学習の流れを示している。</p> <p>また、1ページを使い「話し合いの手引き」を示している。全学年「1年間で学ぶこと」と、見開き2ページで4つの視点を示し、頑張りたいことを書く欄を設けている。</p> <p>②主題名は教材名横に大きく、また色別の4つの視点の枠内にマークと内容項目を教材名横に示している。</p> <p>3年生「足袋の季節」では、主題名を「弱さと向き合って」と示し、Dの視点を表す色で示している。</p> <p>③発問は、教材文の後に「考えてみよう！」と表示し、2～3示している。</p> <p>3年生「二通の手紙」では、「元さんがはればれとした顔で職場を去ることができたのは、なぜだろう」「社会の中で規則や決まりを守ることが大切なのは、なぜだろう」の二つを示している。</p>	<p>①オリエンテーションのタイトルは、「道徳の学習を始めよう！」とし、見開き2ページ下に3つの学習の流れを小さく示している。また、1年生では「聞こう・話そう さいころトーク」という学級開きのグループワークの活動を設けている。</p> <p>②主題名は教材名の横にやや小さく、また色別の4つの視点のマークと内容項目を教材名横に示している。</p> <p>3年生「足袋の季節」では主題名を「良心に従って生きる」と示し、Dの視点を表す色で示している。</p> <p>③発問は、教材文の後に「学びに向かうために」として「考えよう」「意見交換」「見つめよう」と三つに分け、計3～4、示している。</p> <p>2年生「二通の手紙」では、「なぜ元さんは、規則を知っているが姉弟を園内に入れたのだろうか」「二通の手紙を見比べながら『新たな出発ができた』と言った元さんは、どんなことを考えていたのだろうか。話し合ってみよう」「きまりは何のためにあるのだろうか。考えたことをノートなどに書いてみよう」と三つを示している。</p>	<p>①オリエンテーションのタイトルは、1年生は「中学生の道徳が始まる」(他年生は「〇年生の～)」とし、見開き2ページで道徳の学習で考える6つの内容に分け教材名とともに示している。1年生では「道徳ってどんなふうに学習したらいいの？」と、見開き2ページで学び方を示している。</p> <p>②主題名は、教材名横に、4つの視点を表す色別の枠で示している。</p> <p>3年生「足袋の季節」では、Bの視点を表す色の枠で示している。</p> <p>③発問は、冒頭の教材名の下に一つ、また、教材文の後に「学びの道しるべ」として、三つ示している。</p> <p>3年生「二通の手紙」では、「元さんがはればれとした顔で身の回りを片づけ、職場を去って行ったのはなぜだろう。」「姉弟を入園させた元さんの判断を、あなたは思うだろうか。」「きまりや法は、なんのためにあるのだろうか。」の三つを示している。</p>	<p>①オリエンテーションのタイトルは3年生「道徳の時間に学ぶこと」、他年生『対話』で広がる、道徳の時間」とし、見開き2ページで学び方を、また全学年1ページで「本書で学ぶ皆さんへ」と、学びを構成する5つの要素を、更に巻末見開き2ページ同内容で「どうして『道徳』を学ぶんだろう？」を示している。</p> <p>②主題名は、教材名横に、4つの視点を表すマークと内容項目を示している。</p> <p>3年生「足袋の季節」では主題名を「よりよく生きる喜び」と示し、Dの視点を表す色で示している。</p> <p>③発問は、教材文の後に「学びのテーマ」として1ページをあて、「考える観点」で三つ、教材により「見方を変えて」「つなげよう」として各1～2示している。</p> <p>3年生「二通の手紙」では「規則は、何のためにあるのだろうか」と記述し、考える視点として「元さんは、規則を知っているが、どうして姉弟を動物園の中に入れたのだろうか」「元さんが『この年になって初めて考えさせられ』たのは、どんなことだったのだろうか」「規則は何のためにあるのだろうか」の三つを示している。「見方を変えて」では、一つ、「つなげよう」では二つ、計六つ示している。</p>	<p>①オリエンテーションのタイトルは「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」を各1ページで示し、学び方を3つで示している。</p> <p>また、別冊「道徳ノート」の巻頭に「道徳ノートのとびら」を設け、4つの視点、内容項目を記載し、学びたいものに印をつけるようにしている。</p> <p>②主題名は教材名の上に色別の4つの視点の枠にマークとともに記載され、文章で示しているものもある。</p> <p>2年生「足袋の季節」では、主題名を「強く気高く生きる」とし、Dの視点を表す色と印で示している。</p> <p>③発問は、教材文の後に「考えてみよう」「自分に+1」で一つずつ、また問題解決的な学習・体験的な学習では「学習の進め方」を見開き2ページで示している。</p> <p>3年生「二通の手紙」では「話し合いをとおして、法やきまりの意義について、考えてみよう。」と示すとともに、「問題をつかもう」で『二通の手紙』を読んで、何が問題だと考えるかまとめよう、「自分で考えてみよう。」では「元さんは、二通の手紙を読んだとき、それぞれどんなことを考えたのだろうか。」「問題について考え、議論しよう」でも二つ、計五つ示している。</p>	<p>①オリエンテーションのタイトルは、1年生が「新しい扉を開く」(2年生「明日への扉を開く」)3年生「未来への扉を開く」とし、見開き2ページで学び方を4つで示している。</p> <p>また、「My Profile」を1ページ設け、自分を見つめる枠を設けている。</p> <p>②主題名は、4つの視点を示す色線を教材名の上に引いて示している。</p> <p>2年生「足袋の季節」では、Dの視点を表す色の線で示している。</p> <p>③発問は、教材文の後に1～2示している。</p> <p>3年生「二通の手紙」では、「二通の手紙」では、「二通の手紙を前に、元さんが考えさせられたこととはどのようなことだろうか」「この話から、どのようなことを自分に生かせるだろうか」という二つを示している。</p>	<p>①オリエンテーションのタイトルは1年生が「自分を見つめよう」、2年生「自分を考えよう」、3年生「自分をのばそう」とし、見開き2ページで学び方を5つの視点で示している。</p> <p>また、別冊「中学生の道徳ノート」巻頭に「中学〇年生の私」を1ページ設けている。</p> <p>②主題名は、教材名上部に4つの視点を示す色別の枠で教材の番号を囲み、教材名下に〇印の数で内容項目を示している。</p> <p>2年生「足袋の季節」では、Dの視点を表す色で番号を囲み、示している。</p> <p>③発問は、教材文の後に「学習の手がかり」というめあてとともに2～3、「考えを広げる・深める」として1～2示している。</p> <p>3年生「元さんと二通の手紙」では、「学習の手がかり」として「元さんはどう思って、姉弟を入園させたのか」「二通の手紙を見比べて元さんが考えたことはなんだろうか。」「元さんはどうしてはればれとした顔で身の回りの片づけをし、職場を去っていったのだろうか。」「三つを、「考えを広げる・深める」では「規則に問題があったのか、それとも元さんの思いやりに問題があったのか、考えてみよう」の一つ、計四つ示している。</p>	<p>①オリエンテーションのタイトルは「道徳科って何を学ぶの？」とし、見開き2ページで5つの学び方を、「多様な考えを知るために」として6つの方法を示している。</p> <p>また「教科書の使い方」として5点を、自分を見つめる6項目とともに、1ページで示している。</p> <p>②主題名は、教材名上部に、4つの視点を表す色別の枠内に内容項目の番号で示している。</p> <p>2年生「足袋の季節」では、Dの視点を表す色で番号を囲み、示している。</p> <p>③発問は、教材文の後に「考え、話し合ってみよう」として、深めよう」と表示し、2～3示している。</p> <p>2年生「二通の手紙」では、「二人の姉弟を入園させた元さんをどう思いますか」「この年になってはじめて考えさせられることとは、どんなことだったのでしょうか」「元さんが晴れ晴れとした顔で身の回りを片付け、自ら職を辞し、職場を去って行ったのはどうしてでしょうか」という三つを示している。</p>

発行者 観点	2・東書	11・学図	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・廣あかつき	233・日科
	視点④「問題解決的な学習を取り入れた工夫」		視点⑤「体験的な学習を取り入れた工夫」		視点⑥「自己の生き方につなげる工夫」			
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	<p>④問題解決的な学習を取り入れた工夫では、各教材文の終わりに「考えてみよう！」のコーナーを設け、2～3の問いかけがなされている。 【1年 P13】</p> <p>⑤体験的な学習を取り入れた工夫では、直前の教材に関連した体験的な学習を促す教材を、各学年2か所ずつ掲載すると共に、動作や演技に関する（ACTIONアクション！）マークを目次、該当ページに示している 【3年 P88・P89】</p> <p>⑥自己の生き方につなげる工夫では、他の教科との関連を確認してから学習に入れるよう、教材ごとに関連する教科をマークで示している 【2年 P94 右下】</p> <p>・教材で学習した内容を各教科や自分の生活に広げて考えることができるよう、「Plus プラス」のページを設けている 【2年 P100・P101】</p>	<p>④問題解決的な学習を取り入れた工夫では、教材文の終わりに「学びに向かうために」のコーナーを設けている。 【1年 P47】</p> <p>⑤「学びに向かうために」のコーナーの「考えよう 意見交換」に、発問を示し、役割演技を促している。 【3年 P10】</p> <p>⑥自己の生き方につなげる工夫では、大事なことを自分自身のこととして見つめ、今後に生かすことができるよう、「見つめよう」を設けている 【2年 P36】</p> <p>・道徳的価値について自分のこととして捉えることができるよう、「心の扉」のページを設けている 【2年 P37】</p>	<p>④問題解決的な学習を取り入れた工夫では、教材文の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーを設けている。 【1年 P31】</p> <p>⑤体験的な学習を取り入れた工夫では、直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、動作や演技に関するマークを該当ページに示している 【3年 P95】</p> <p>⑥自己の生き方につなげる工夫では、道徳科の学習を日常生活に生かせるよう、「学びの道しるべ」を設けている 【2年 P117】</p>	<p>④問題解決的な学習を取り入れた工夫では、教材の冒頭や終わりの「学びのテーマ」のページに、「考える観点」を設けている。 【1年 P16】</p> <p>⑤体験的な学習を取り入れた工夫では、複数の連続した教材（学習のまとめ）に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、目次に示している 【3年 P40～P42】</p> <p>⑥自己の生き方につなげる工夫では、学んだことを深めたり行動につなげたりできるよう、他教科や学校生活との関連、特別活動や学校行事との関連、関連する内容の図書の紹介等を掲載する、「つなげよう」を設けている 【2年 P12】</p> <p>・巻末に、他教科との関連を一覧にして示している 【2年 P224】</p>	<p>④問題解決的な学習を取り入れた工夫では、目次、該当ページ、巻末にマークを付けて示し、教材文の終わりに「学習の進め方」のページを設けている。 【1年 P152・P153】</p> <p>⑤体験的な学習を取り入れた工夫では、直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、動作や演技に関するマークを目次、該当ページ、巻末に示している 【3年 P20・P21】</p> <p>⑥自己の生き方につなげる工夫では、道徳科以外の教育活動とも関連づけて使用できるよう、教材と関連した内容や活動を扱ったコラムを掲載している 【2年 P70・P71】</p> <p>・巻末に、他教科との関連を一覧にして示している 【2年 P191 後の巻末】</p>	<p>④問題解決的な学習を取り入れた工夫では、「深めよう」のページを設けている。 【1年 P27】</p> <p>⑤体験的な学習を取り入れた工夫では、直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている 【3年 P59】</p> <p>⑥自己の生き方につなげる工夫では、道徳科の学習を日常生活に生かせるよう、すべての内容項目の教材に「クローズアップ」を設けている 【2年 P161】</p> <p>・巻末に、他教科との関連を一覧にして示している 【2年 P184】</p>	<p>④問題解決的な学習を取り入れた工夫では、教材文の終わりに「考える・話し合う」のコーナーを設け、「学習の手がかり」の中で、学習のめあて等を示している。 【1年 P14】</p> <p>⑤体験的な学習を取り入れた工夫では、体験的な学習を促す教材を掲載している 【3年 P69】</p> <p>⑥自己の生き方につなげる工夫では、自己の生き方について考える学習ができるよう、各教材に「考えを広げる・深める」を設けている 【2年 P33】</p> <p>・別冊「中学生の道徳ノート」に、自己の生活や様々な体験活動との関連を図った発問を示している 【2年道徳ノート P4・P5】</p>	<p>④問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」のコーナーを設けている。 【1年 P107】</p> <p>⑤体験的な学習を取り入れた工夫 ・体験的な学習を促す教材を掲載している 【3年 P56・P57】</p> <p>⑥自己の生き方につなげる工夫では、他教科とのつながりを考慮した教材を複数掲載すると共に、関連するコラムを設けている 【2年 P103】</p>

発行者 観点	2・東書	11・学図	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・廣あかつき	233・日科
	視点⑦「分量や教材の数」 視点⑧「現代的な課題等を踏まえた内容の示し方」							
(ウ)	<p>⑦分量は、AB判188～196ページある。教材数は、Cが42教材、その他は21教材ずつ。</p> <p>⑧現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を「いじめのない世界へ(1)(2)」を設け、複数教材をまとめている。</p> <p>「いじめ問題対応ユニット」を設け、目次に桃色の枠囲みで示している。</p> <p>【1年 P24～34】</p>	<p>⑦分量は、AB判226～230ページある。教材数は、Cが48教材、Cを扱う数が最も多い。A21、BとDは18ずつ。</p> <p>⑧現代的な課題等を踏まえ、いじめの問題点を直接注目し、正対して取り組むことを考える教材といじめに転じかねない生徒の日常のあり方について着目する教材で構成している。また、いじめ問題を扱う教材には、「いじめ防止」マークを目次及び該当ページに示している。</p> <p>【1年 P20～25】</p>	<p>⑦分量は、B5判184～200ページある。教材数は、Cが44教材、その他は20～21教材ずつ。</p> <p>⑧現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を直接的に扱った教材といじめを許さない心の育成を間接的に支えるための教材を選定している。また、いじめについて直接的に扱っている教材は、巻頭で「いじめや差別のない社会に」として、まとめて紹介している。【1年 P38～45】</p>	<p>⑦分量は、B5判229～237ページある。本書のページ数が最も多い。教材数は、Cが36教材、Cを扱う数が最も少ない。一方で、A27、B24と最も多く取り扱っている。</p> <p>⑧現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を様々な内容項目からいじめ問題の解決に結びつく教材とコラムを1つのユニットとして設け、「つなげよう」のコーナーが明記され学年前半に位置付けている。【1年 P60～65】</p>	<p>⑦分量は、B5判198ページと別冊42ページ、合計240ページある。教材数は、Cが45教材、その他は18～21教材ずつ。</p> <p>⑧現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を直接的・間接的に扱った教材をコラム「プラットホーム」をユニット化し、年間で複数配置している。</p> <p>また、いじめを扱う最初のユニットに扉ページ「『いじめ』と向き合う」を設定している。【1年 P28～43】</p>	<p>⑦分量は、A4判182～186ページある。教材数は、Cが37教材、その他は22～24教材ずつ。</p> <p>⑧現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を直接的なテーマとしてとらえ議論できる教材と、様々な面から他者と共によりよく生きることを考え、議論できる教材を選定し、いじめに関する特設ページ「クローズアップ」を設けている。【1年 P23】</p>	<p>⑦分量は、AB判164～184ページと別冊68ページ、合計232～252ページ。教材数は、Cが36教材でCを扱う数が最も少ないが、Aが24、Bが21、Dが24と均等配分。</p> <p>⑧現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を直接的教材と、いじめを直接扱わない間接的教材を選定している。直接的教材の直後に、関連深い内容のコラム「thinking」を設定している。【1年 P36～41】</p>	<p>⑦分量は、B5判194ページある。教材数は、Cが47教材、Cを扱う数が多めである。他は、Aが20、Bが23、Dが21と均等配分。</p> <p>⑧現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題をいじめを正面から取り上げている教材と生命尊重への学びをより深める教材を複数選定している。</p> <p>【1年 P98～103】</p>
発行者 観点	2・東書	11・学図	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・廣あかつき	233・日科
	視点⑨「巻頭・巻末等の取り扱いの工夫」 視点⑩「教材の内容を理解させる工夫」							
(エ)	<p>⑨巻頭には、各学年「話し合いの手引き」「道徳の授業はこんな時間に」と折り込みページで示している。</p> <p>巻末には、各学年「テーマで振り返ろう」とし、6つのテーマで教材を分類して示している。また、切り取り式のホワイトボード用紙、心情円を設けている。</p> <p>⑩教材の内容を理解させる工夫として、「アクション」「プラス」のマークやDマーク、教科関連マークなどを設定している。また、キャラクター「考えタイガー」を設定している。</p>	<p>⑨巻頭には、各学年「心の扉」を4つの視点ごとに分類して示している。</p> <p>巻末には、「一年間の振り返り」を1ページでもうけ、「保護者の方へ この教科書で目指すこと」を4つの視点ごとに示している。</p> <p>⑩教材の内容を理解させる工夫として、現代的な課題「社会をいきぬく」「命の尊厳」等10種類のポイントのマークを設定し、深く考えるポイントを示している。</p>	<p>⑨巻頭には、第1学年は、「中学生の道徳が始まる」、第2学年以上は「〇年生の道徳が始まる」を見開き2ページで示している。巻末には、各学年「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」を織り込みページで示している。</p> <p>⑩教材の内容を理解させる工夫として、「学びの道しるべ」、「問い」「やってみよう」マークを示し、様々な角度から考え、体験的な学習を取り入れた活動を示している。</p>	<p>⑨巻頭には、各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。各学年、「本書で学ぶ皆さんへ」を示している。巻末には、各学年テーマ別教材一覧を見開き2ページで示し、「どうして『道徳』を学ぶんだろう？」を見開き2ページで示している。</p> <p>⑩教材の内容を理解させる工夫として、1年間を4つのシーズンに分け、教材やユニットのテーマと関連させ、教材の横に内容項目と色分けされた4つの視点が示されている。</p>	<p>⑨巻頭には、各学年「この教科書で学ぶテーマを見開き2ページで示し、『いじめ』と向き合う」のテーマには囲みがある。巻末には、各学年、内容項目別教材一覧等との関連等を記載している。</p> <p>⑩教材の内容を理解させる工夫として、学習するなかで道徳的な問題をつかみ、その解決に向けて考えたり話したりすることを示した 問題解決的な学習などのマークを設定している。</p>	<p>⑨巻頭には、各学年「よりよく生きるための22の鍵」を4つの視点に分類し、見開き2ページで示している。巻末には、各学年「心の四季」を1ページで設けている。第3学年には「未来への扉」を1ページで設けている。</p> <p>⑩教材の内容を理解させる工夫として、「クローズアップ」、「クローズアッププラス」のマークを設けて、考え方の選択肢を広げたり、視点や内容項目の異なる関連情報により視野を広げたりするページを示している。</p>	<p>⑨巻頭には、各学年、豊かな自己の形成のための段階を1ページで掲載している。各学年、別冊「道徳ノート」には、「心のしおり」を折り込みページで、「学習の記録」を5ページ、「話し合い活動の記録」を2ページ、「心に残っている授業の記録」を2ページで設けている。</p> <p>⑩教材の内容を理解させる工夫として、「thinking」マークなどを設け、教材文の終わりに先人や著名人の言葉を掲載している。</p>	<p>⑨巻頭には、「道徳科って何を学ぶの？」を見開き2ページと「教科書の使い方」「心の成長を目指して」を示している。巻末には、各学年、「学習指導要領対応表」とし、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、全ての教材名を示している。</p> <p>⑩教材の内容を理解させる工夫として、「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」等のマークを設定している。教材名の上に色別の内容項目を表す番号を示し罫線等で色分けしている。</p>

発行者 観点	2・東書	11・学図	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・廣あかつき	233・日科
	視点⑩「考えを伝え合う活動の工夫」 視点⑪「考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫」							
(オ) 言語活動の充実	<p>⑩考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、「話し合いの手引き」を示すと共に、ショートストーリーを例とした話し合いの具体的なプロセス等を示している。【1年P3】</p> <p>教材文の終わり「考えてみよう!」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問をしている。【1年P13】</p> <p>⑪考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、巻末に、心に残った教材や授業で学んでよかったこと、来期の取り組み方等を記録する、振り返りのページ「自分の学びを振り返ろう」を設けている。【3年P185】【3回分：4項目】</p>	<p>⑩考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「道徳の学習を始めよう!」の中に、話し合いポイントを下段に示している。【1年P2～3】</p> <p>教材文の終わり「学び合うために」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年P13】</p> <p>⑪考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、教材ごとに、思ったことや感じたことなどについて、学習の振り返りができる記述欄「学びの記録」を設けている。【年間3回分：教材ごとに2項目】</p> <p>巻末に、一年間の学習を振り返る欄「一年間の振り返り」を設けている。【3年P222】【1回分：2項目】</p>	<p>⑩考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「道徳って、どんなふうに学習したらいいの?」の中に、話し合いのポイントを2ページで示している。【1年P4～5】</p> <p>教材文の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年P11】</p> <p>⑪考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、巻末に、印象に残った教材を記録したり、新しい発見等があった教材に色を塗ったりする欄「道徳の学びを記録しよう」を設けている。【3年P174】</p> <p>【3教材分：1項目】</p> <p>【教材ごと】</p> <p>巻末に、中学校での学習を終え、二十年後の自分の姿を記入する欄「そして、未来へ…」を設けている。【3年P176】</p> <p>【1回分：3項目】</p>	<p>⑩考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭『対話』で広がる、道徳の時間」の中に話し合いのポイントを示している。【1年P4～5】</p> <p>コラムの中に「考えよう」を設定し、内容における話し合いを促す発問をしている。【1年P64, 65】</p> <p>⑪考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、巻末に、自分の将来を想像し、人生目標を年表に書く欄「人生目標年表を書こう」を設けている。【3年P224】【1回分】</p> <p>巻末に、シーズンごとの自分の学びの振り返り、自分の考えを書き留めておくことができるページ「学びの記録」を設けている。【3年P233】</p> <p>【1回分：4項目】</p>	<p>⑩考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「道徳科での学び方」の中に、話し合いの具体的な状況を示している。【1年P3】</p> <p>教材文の終わり「学習の進め方」のページに教材における話し合う学習活動を示している。【1年P26】</p> <p>別冊「道徳ノート」の中に、教材と同じ発問について書く欄を設けると共に、巻末に話し合いの内容をメモするページを6回分設けている。【1年P37～39】</p> <p>⑪考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、別冊「道徳ノート」に、授業で学んだこと等について振り返る欄「自分への振り返り」を設けている。【教材ごと：4項目】</p> <p>別冊「道徳ノート」の巻末に、話し合いの内容をメモするページ【3年P37】【6回分】や道徳の学習で印象に残ったこと等「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」を記入する、保護者記入欄付きの振り返りのページを設けている。【3年P40】【3回分】</p>	<p>⑩考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「新しい扉を開く」の中に、考えを深める四つのポイントを示している。【1年P2～3】</p> <p>教材文の終わり「深めよう」のページを設定し、グループでの話し合いの流れを示している。【1年P27】</p> <p>⑪考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、巻末に、1年間の自分の成長を振り返るページ「心の四季」を設けている。【3年P182】</p> <p>【1回分：4項目】</p> <p>巻末に、未来への自分に手紙を書く欄「未来への扉」を設けている。【3年P183】【1回分】</p>	<p>⑩考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「自分を見つめようー道徳の時間とはー」の中に、話し合いのポイントを示している。【1年P2～3】</p> <p>教材文の終わり「考える・話し合う」のコーナーに、「考えを広げる・深める」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年P5】</p> <p>別冊「中学生の道徳ノート」の中に、「話し合いの記録」を設定し、話し合いの記録を残す欄を設けている。【1年P54】</p> <p>⑪考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業「心に残っている授業の記録」【3年P52】【4回分】や話し合いの記録を残す欄「話し合い活動の記録」【3年P54】【4回分：2項目】を設けている。</p> <p>別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に学習の記録「学習の記録」【3年P56】【15回分】や自己評価「自分自身を振り返って」【内容項目ごと】、内容項目ごとの振り返りをする折り込みページ「自分をのばそう」【3回分（振り返りは4回分）】【教材ごと】を設けている。</p>	<p>⑩考えを伝え合う活動の工夫は、巻頭「道徳科って何を学ぶの?」の中に、話し合いのポイントを示している。【1年P4～5】</p> <p>教材文の終わり「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。【1年P12】</p> <p>⑪考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫は、巻末に、1年間の成長を振り返るページ「3年生の心の成長を振り返りましょう」【3年P190】【内容項目ごと】を設けている。</p> <p>巻末に、3年間の道徳の授業について振り返るページ「私の道徳記録」【3年P191】【1回分：5項目】を設けている。</p>